



Q 75歳女性です。周りの物のおいが全く感じられなくなり、耳鼻科を受診。点鼻薬を1カ月続けましたが、医師から「もうやめましょう。このあと味覚もなくなるでしょう」と言われました。せめて味覚は失いたくありません。何かできることがありますか。

〓回答〓
北大病院耳鼻咽喉科
(札幌市北区)

中丸 裕爾さん



においの感覚障害(嗅覚障害)はさまざまな原因で生じます。アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎で、においの分子が「嗅粘膜」というにおいを感じる場所にまで到着せずに生じる呼吸性嗅覚障害、ウイルスや有害物質、亜鉛欠乏による嗅粘膜自体の障害で起こる末梢神経性嗅覚障害、脳梗塞や頭部外傷、アルツハイマー病などで脳が障害を受けて生じる中枢性嗅覚障害が

嗅覚障害

原因さまざま 特定が重要

あります。

嗅覚障害の治療を考える上で原因を特定することが重要となります。前述した病変がないかを調べ、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎などがあれば、まずそれを治療します。また、高齢の方の場合に注意が必要なのが、薬剤の副作用と亜鉛欠乏による嗅覚障害です。両者とも嗅覚障害に加えて味覚障害を併発する場合があります。

持病で多くの薬剤を服用しているなら、嗅覚障害を生じる可能性のある薬剤を服用していないか、主治医あるいは薬剤師に確認してください。また血液検査で亜鉛欠乏の有無を調べてもらい、欠乏していれば亜鉛を含む薬剤を処方してもらおうか、カキなどの貝類、レバー、アーモンドなど亜鉛が豊富な食物を摂取することが必要です。

残念ながら、原因によっては治療に反応しない嗅覚障害もあります。再度耳鼻科を受診し、嗅覚障害の原因について説明してもらうことをお勧めします。

この欄への質問や、取り上げてほしいテーマを募集しています。住所、氏名、年齢、職業、電話番号(紙面では匿名とします)を添え、郵便かファクス、電子メールで生活部へお寄せください。ただし、すべての投稿にお答えできるわけではありません。